

操山

岡山操山高校同窓会

会報

第3号

2020年4月1日発行



創立百二十周年記念特集号

創立120周年を祝う



同窓会会长
大原 利憲

会員の皆様には、日頃から同窓会の活動に多大のご協力ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年10月9日の岡山シンフォニーホールでの記念式典、11月16日のホームカミングデー、さらにファミリー美術展や二操会記念コンペなど、多くの記念行事を盛大にとり行うことができましたことに厚く御礼申し上げます。

120周年を同窓会の一層の発展の契機とすべく、同窓会活性化委員会を立ち上げ、同窓会組織がより機動的になるよう定期的に意見交換の場を設け、理事や評議員の皆様方から母校愛に満ちたご意見をいただきました。その成果の一つが「会報」の発行であり、多くの会員の方から同窓会活動へのこれまで以上の積極的な参加とご支援をいただいているます。

今後とも同窓会活動が継続して発展していきますよう、応援よろしくお願ひいたします。



校長
近藤 治

操山ファミリーの絆よ、永遠に！

同窓会「会報」第3号の刊行、誠におめでとうございます。

今年、本校の前身の一つである岡山県高等女学校が開校してから120周年を迎え、同窓会の皆様にご協力をいただき、10月9日(水)の岡山シンフォニーホールでの創立記念式典・記念講演会や11月16日(土)のホームカミングデーをはじめ多くの記念行事を滞りなく実施することができました。在校生もやがて同窓会の一員となります。操山を愛するファミリーとしての絆の象徴がこの会報です。これからもこの会報で結ばれる操山ファミリーの絆が、ずっと続くことを願っています。

最後に、校長として在職した4年間、本当にありがとうございました。私の愛する本校がますます発展することをお祈りします。

母校のあゆみ



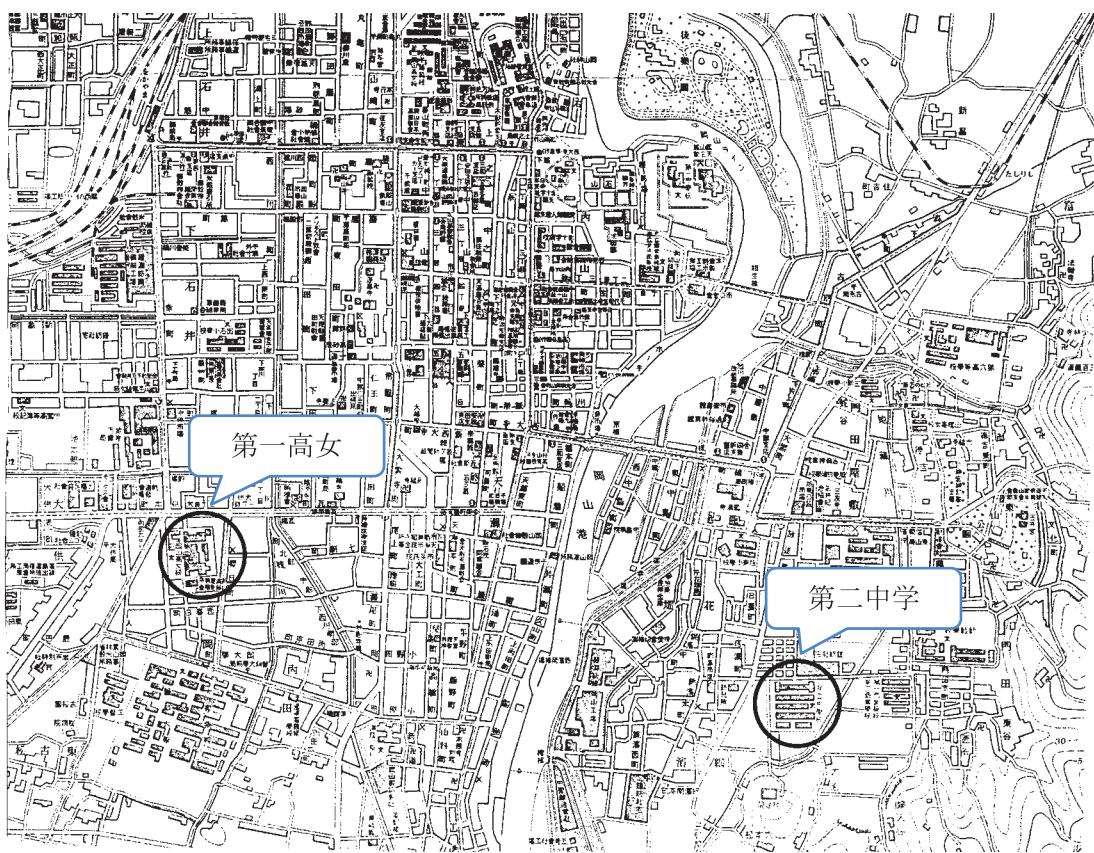
岡山高女大供校舎玄関



二中正門・本館（昭和5年）



校舎の写真と地図は、『創立百年史』より



岡山市街地図（昭和12年）

沿革

地図は昭和 12（1937）年のものです。写真「岡山県第一岡山高等女学校」（「一女」と略称）の碑は現在の岡山市役所の南側の敷地に建立されています。碑文にある明治 33（1900）年が母校の創立の年です。校名は「岡山県高等女学校」、開校地は磨屋町にある岡山寺・光珍寺内でした。

2 年後、碑のある大供の新校舎に移転しました。昭和 11 年に「一女」と校名が改称されたのは、新たに「二女」が藩山町の岡山藩学校の跡地（旧旭中学校、現在の岡山中央中学校校地の南側）にあった岡山女子師範学校内に設立されたからです。「一女」の南には岡山医科大学（現在の岡山大学医学部）がありました。「一女」は昭和 14 年浜の新校舎に移転しました。

写真「岡山県第二岡山中学校」（「二中」と略称）の碑は、「操山会館」（中区赤坂本町）の敷地に建立されています。大正 10（1921）年「二中」が開校したことにより、岡山城城郭内にあった「岡山県岡山中学校」は「岡山県第一岡山中学校」（「一中」と略称）と改称されました。「二中」の東隣には地蔵川を挟んで岡山県第一岡山商業学校（現在の岡山県立岡山東商業高等学校）があり、またその近隣の今の岡大附属中学校の校地には岡山師範学校がありました。

以上の旧制諸学校は昭和 20 年 6 月の岡山大空襲でその大半が焼失し、戦後の学制改革により再編整備されました。「一女」は「岡山県立岡山第一女子高等学校」、「二中」は「岡山県立岡山第二高等学校」と校名が改称され、昭和 24 年高校再編成により両校が統合され、「岡山県立岡山操山高等学校・同校通信教育部・同校専攻科」と校名が改称されました。翌年「岡山朝日」「岡山操山」二校総合選抜制となり、校舎も昭和 30 年代に入り統合・整備されていきました。

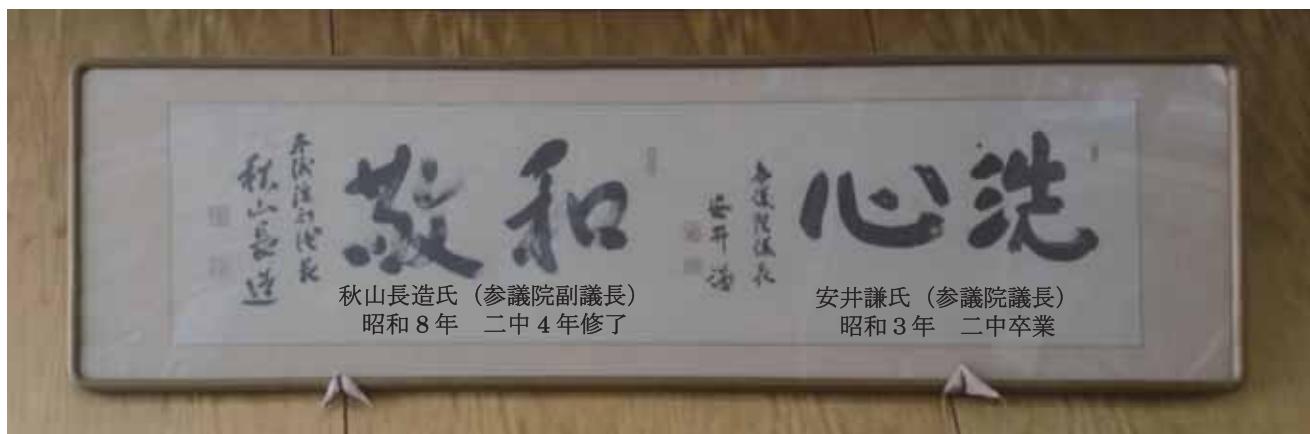
また、「一中」と「二女」も同様の経過を経て「岡山県立岡山朝日高等学校」となり、第六高等学校（「六高」と略称）の跡地に移転しました。

なお、岡山医科大学、「六高」、岡山師範学校などは、焼失を免れた津島の帝国陸軍第 17 師団の広大な敷地に設立された新制岡山大学に包括されました。

朝日・操山のいわゆる「二校時代」から、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山一宮の「五校時代」を経て、平成 11（1999）年には岡山市内普通科五校総合選抜が廃止され、単独校選抜になりました。その後、平成 14 年に岡山県立岡山操山中学校が併設され、校名も「岡山県立岡山操山中学・高等学校」となり、県下初の県立中高一貫校として現在に至っています。

文責 柴岡 元（昭和 40 年卒）

操山高校校長室



近藤鶴代

大正 9 年卒業（本科第 18 回生）

近藤鶴代は1901年（明治34年）11月16日、岡山県八束村に生まれる。岡山県高等女学校（岡女）を卒業。日本女子大学を卒業したのち、昭和2年母校の岡女で家政科の教諭となる。

政界へ、そして大臣へ！

第二次世界大戦が終わり、GHQによる民主化が進むなか、普通選挙法が改正され、女性参政権が実現し、1946年（昭和21年）我が国初の女性代議士39名が選出された。衆議院議員・近藤鶴代の誕生である。

外見はおとなしいが芯の強い政治家として認められ、1948年GHQ相手の難しい外交の時期に第二次吉田内閣で外務政務次官に抜擢された。

1962年（昭和37年）第二次池田内閣で、科学技術庁長官として入閣。中山マサについて二人目の女性閣僚となる。科学に弱いと自称する近藤を起用したことに対し、近藤のみならず池田首相の科学技術に対する考え方が無責任であるとの批判が自民党内にさえあったが、近藤は就任半年後の演説で「私は科学には一向に強くなりません。原理原則という学問的なことはいくら勉強しても今の原子力時代、宇宙時代には追いつけません。ですから学問的なことよりも、そういう努力をしている人により良いプラスをもたらすような仕事をすることが大臣としての私の職責です。」と発言した。

近藤大臣が日本原子力船開発事業団という新しい仕事に取り組んだとき、当時大蔵大臣であった田中角栄との間で次のようなやりとりがのこされている。

近藤大臣は「大蔵大臣折衝では私は素人ですから。」といって事務次官を同席させることを求めたが、田中角栄は、「ここは大臣と大臣との話の場所であるから。」と拒否した。これに対して近藤は、大蔵大臣室に大勢いる事務次官、主計局長、理財局長等に対し「あの方たちは何ですか？」と問い合わせた。田中は答えに窮して「あれは書記だ。」と答えたので近藤は「それではあの人たちは発言しないですね。」とくぎを刺した。結局その折衝で、それまで各省庁で長い時間かけても纏まらなかった国立防災科学技術センターや日本原子力船開発事業団を田中に認めさせた。有名な逸話である。

1968年政界を引退

1970年（昭和45年） 68才で逝去

「和して流れず」

近藤鶴代 座右の銘 「和して流れず」

これは、一女時代から語られていた精神です。操山高校になってからも引き継がれています。

我が国で最初の女性代議士！

母校の教諭として昭和2年から昭和21年まで母校の教諭として在職されました。その間、近藤先生に教えを受けた生徒はまだ存命中の人もいて、先生の教えを懐かしく語ってくれます。

ちょうど戦時中だったので、食料が欠乏するなか、空のお皿とナイフ・フォークを並べて、フランス料理のテーブルマナーを教わつたり、洋間の場合と和室の場合の部屋の出入りの仕方のマナーなどを見んだことがとても印象的だつたそうです。



国會議員として在職期間 22 年



母校の庭に建てられた近藤鶴代先生顕彰碑

文責 高林重信（昭和40年卒）

人見絹枝 大正13年卒業（本科第22回生）

日本人初の女性五輪メダリスト！

東京五輪を控え、NHKの大河ドラマ「いだてん」をはじめ、様々なメディアで人見絹枝がとりあげられました。そこで改めて彼女の活躍の概要をまとめました。

岡女時代

1920年（大正9年）13歳。福浜村立福浜尋常高等小学校から、創立20周年を迎えた難関の岡山県高等女学校に進学した。この時期、本校は上級学校への進学熱も盛んで、東京女子高等師範学校（現在のお茶の水女子大）への入学は全国一を誇っていたという。人見はテニスと陸上競技に取り組むが、その非凡な才能を見出したのが、文武両道をかかげ情熱と進取の気性に富んだ新任の和氣昌郎校長と体育の先生たちであった。

東京へ！

1924年（大正13年）17歳。校長らの強い勧めで、英国留学の経験のある二階堂トヨが経営する東京の二階堂体操塾（現在の日本女子体育大学）に入塾。ここで三段跳で世界新を出し有名アスリートとなった。1年間の在京後、塾を卒業して一時京都市立第一高等女学校（現在の京都市立堀川高校）に体育教師として勤務している。

社会人として、そして世界へ！

1926年（大正15年）19歳。大阪毎日新聞社に入社して、本格的な競技生活を始めた。スウェーデンで開催された第2回万国女子五輪に、日本はアジアから唯一の参加国、日本選手は人見ただ一人で出場した。大阪から朝鮮半島経由で満州に渡り、ハルビンからシベリア鉄道を利用しての1か月の長旅であったが、総合得点で優勝して大スタジアムに日の丸を掲げ、「日本のヒトミ」の名を世界に轟かした。

アムステルダム五輪に出場！

1928年（昭和3年）21歳。第9回アムステルダム五輪に出場。織田幹雄、南部忠平らにまじって女性は人見ただ一人。期待の100メートル走では準決勝で敗退したが、女性にとって超過酷な800メートル走で銀メダル、日本人女性初の五輪メダリストとなった。

因みに、次の五輪陸上女性メダリストは64年後のスペイン・バルセロナ五輪マラソンで銀メダルの岡山県出身の有森裕子さん。



母校に設置された人見絹枝像

時代を駆け抜けた24年間！

1930年23歳。第3回万国女子五輪に少女5人を引率してチェコに遠征した。ベルリンやパリでも競技に出場。往路はシベリア鉄道、復路はロンドンから地中海、インド洋経由で帰る。派遣費用の公的支援のない時代、募金活動などに奔走し身心の負担は大きかった。

1931年24歳。4月大阪帝大附属病院に緊急入院、8月肺炎のため逝去した。亡骸は故郷岡山市南区浜野の妙法寺に葬られた。

人見のジャーナリストとしての片鱗は、満州軍閥の張作霖の息子である張学良と会見する写真に残されている（猪木正実『人見絹枝の世界』岡山文庫）。将来の活躍が期待されたところである。人見の死後まもなく満州事変が勃発した。

大正12年、4年生の人見は「第二回中等学校女子競技会」で走り幅跳び（4.69m）で見事優勝し日本新記録を打ち立てました。学校側では、砂場を延長して人見の記録を応援したのだというエピソードを、大正5年から昭和19年まで在籍されていた体育の山本教諭が、折に触れ生徒達に思い出話として語っています。



「人見絹枝幅跳模範演技写真」昭和3年母校にて
岡山県立記録資料館所蔵写真



「人見絹枝・女生徒記念写真」昭和3年母校にて
岡山県立記録資料館所蔵写真

岡山二中創立の精神と教育方針

二中を語るには「初代武居魁助校長抜きに語れない」のが卒業生共通の感想です。武居校長は大正10年1月弱冠35歳にして岡山県第二岡山中学校校長に任命され、以降昭和20年3月まで25年の長きに亘り、校長としてその任を全うされました。

二中創立からほぼ終焉までの25年間学校の運営に当たられ、県立校長としては極めて異例な存在がありました。そのお人柄の影響は学校の隅々にまで行き渡っていました。また影響は学校内に留まらず、卒業生、教育関係者等に幅広く行き渡っておりました。武居校長の立てられた教育方針が100年にならんとする現在も操山高校の校風に脈々と生き続けています。



校長室における武居校長（昭和14年）

「卒業60周年記念誌」より

「第19同期会」は、卒業60周年を記念して平成16年に「卒業60周年記念誌」を発行しました。その中から、珠玉のメッセージを抜粋して掲載します。

① 二中校歌秘話（故武居俊郎：初代武居校長ご子息）

二中の同期会に招かれて校歌をお聴きする度に、建学の崇高な精神と教育の高邁な理念の籠められた、心を揺さぶる格調の高い歌詞と魂を鼓舞して陶酔の境地に誘う莊重な曲調に深い感動を憶えます。二中の校歌の楽譜を見ますと、作曲者の原田比古士良氏の名前は載っていますが、作詞者の名前は載っていません。この事に就いてですが、開学当時の国語科の先生方が叢書を集め、練に練つて作り上げたのが「天地のむた動きなき」で始まる歌詞で、それに原田氏が曲をつけて完成したのが大正14年1月のことでした。

同年4月25日には校舎落成式が挙行されました。作詞が特定の個人ではなく国語科との同級生で、山口師範から東京音楽学校に進まれた方です。（抜粋）

二中の同期会に招かれて校歌をお聴きする度に、建学の崇高な精神と教育の高邁な理念の籠められた、心を揺さぶる格調の高い歌詞と魂を鼓舞して陶酔の境地に誘う莊重な曲調に深い感動を憶えます。二中の校歌の楽

岡山県第二岡山中学校 校歌
原田比古士良作曲

どっしりと、勇しく意氣をこめて

(一)アメソチ / ムタ ウゴキナタ キマ
(二)ふだんに みがく ウリチのた 二
ワガオホミコ ヨコラ サウノテヒニ
ああわが ああわが ミコ ヨコラ サウノテヒニ
サワゲテウタケタナ ワガチネ 刀の
サワゲテウタケタナ ワガチネ 刀の
イザキのちのタヘニカエ モーロトモシ
イザキのちのタヘニカエ モーロトモシ

② 「いちばん」と「にばん」（木村 毅）

岡山二中はトップの学校ではない。併しこれからの中等教育は、一中の秀才教育よりも武居校長指導の教育方針の方が好いのではないか」という会話があつたらしく、後日、父からそれを聞かされた。爾来、父は頑なに一中に固執することはなかつた。Y先生は二中出身で、私の目にはその温顔とやさしさに魅力を感じたりもしていた。当時の小学生の憧れは一中か二中の角帽を被るのが夢であった。

③ 岡山禁酒会館（村山正則）

禁酒会館の初日の夕食はカレーライスであつた。M君と二人で一階の洋食堂で大人達に混じって食べた食事が忘れられない。翌朝、二人は宿のオバサンに激励され乍ら玄関の前に立つた。願書は二人とも両校に提出していた。「中にゆくか、二中か。玄関先で、フトY先生の顔が思い浮かんだ。「お前は一中か、よし、ボクは二中だ。」一人は右と左に別れて夫々の受験校に向かつた。（抜粋）

何事にも「いちばん」になるには資質と変な努力が必要とされるが、「にばん」は限り無く「いちばん」に近いポジションであり又「さんばん」の上という優位性もある。何れにしても「にばん」という好位置をキープし乍ら人生を気楽にエンジョイするのも又良からずや。

岡山二中はトップの学校ではない。併しこれからの中等教育は、一中の秀才教育よりも武居校長指導の教育方針の方が好いのではないか」という会話があつたらしく、後日、父からそれを聞かされた。爾来、父は頑なに一中に固執することはなかつた。Y先生は二中出身で、私の目にはその温顔とやさしさに魅力を感じたりもしていた。当時の小学生の憧れは一中か二中の角帽を被るのが夢であった。

- ① お名前
- ② 当時の夢
- ③ 得意な学科・思い出の先生
- ④ 二中時代で嬉しかったこと
楽しかったこと・良かったこと
- ⑤ 二中時代でつらかったこと
- ⑥ 特筆すべき思い出ひとつ
- ⑦ 部活動はなに？
- ⑧ 15 歳に戻れるとしたら何をしたい？
- ⑨ 二中時代の自己採点
- ⑩ 在校生へ一言

仁科次雄（昭和 19 年卒） ②自動車製造 ③理科系植物の江川先生 ④2 年生で留年した小生を温かい友情で元気付けて下さった友人達 ⑤2 年生の時の留年 ⑥病弱だった小生が、家庭教師の森本先生の熱心な指導でストレートで二中に入学できたこと ⑦病弱で参加出来なかった ⑧明るく楽しい学生生活 ⑨45 点 ⑩人生目標を明確にして、継続的にたゆまず前進して下さい

近藤數美（昭和 27 年卒） ②科学が好きだったので科学者になるんだと漫然と思っていたようです ③英語 数学 化学 柴田先生（生物） ④クラブ活動が生徒の自主性にまかされ、本を調べては化学の実験を自由にやり、実験の片手間に軟式テニスで時間をつぶしていた ⑥卒業式の数日前、急に卒業式で「答辞を喋ろ」と指名され、準備不十分なまま式に臨んだ ⑦化学部 ⑧ヨーロッパ（北欧）かアメリカに留学して別の体験をしてみたい ⑨80 点 ⑩優等生にならなくてもよいです 好きなことに夢中になって楽しんでください

三木正浩（昭和 27 年卒・二中最後の期） ②夢が持てるような時代ではなかったかも ③国語 守安先生（数学） 教え方が速かったので「ジープ」 ④部活にあけくれていた ⑤家が貧しくてお金に苦労した ⑥ハンドボール部 インターハイ 3 位 第 6 回広島国体準優勝 ⑧11 人制のハンドボールをしたい ⑨80 点 ⑩2 番でいいんですよ。

昔の岡山二中に在って、後輩の操山高校に今無いもの、それは武器庫。三八式歩兵銃や機関銃が格納され配属将校らがそれらを使っていました。それが当たり前の時代でした。もう武器はいりません。これは「岡山二中会」の第 16 会例会の写真です。（三木正浩）

安光英二（昭和 18 年卒） ②戦中であったので愛国心に燃えていた ③英語 国語 稲田先生（国語）難波先生（化学）佐々木先生（数学）安藤先生（英語） ⑤低学年では級友に苛められた。⑦ハンドボール ⑨50 点

村山正則（昭和 19 年卒） ②父の外科医に憧れ医師となり、軍医として生きる夢を持っていた ③武居校長先生 芳形俊一先生（数学）岩佐守一先生（漢文）森嘉吉先生（英語）仲原先生（地学）井藤先生（数学） ④絵画の時間、授業で担任の武藤先生に絵の表現力をほめられ、絵画が一生の趣味となった ⑤軍事訓練、ことに冬の寒冷時遠距離を銃を担いで行軍したあの時の冷たさ ⑥中学一年の時先輩にボールを拾ってもらった時「スミマセン」と言うと、こういう時は「ありがとう」と言えと教えられた アリガトウ！—感謝の言葉はこれだ 昭和 16 年 12 月 8 日（3 年生）米英相手の開戦の日の緊張した朝礼のひととき ⑦陸上競技部（100m12 秒、200m25 秒、400m60 秒）を切る走力を目標に頑張った ⑧100m 競争で 11 秒台で走りたい ⑨90 点 ⑩期末試験などで先生に残り時間を聞いた時、ある先生は「もう 5 分しかないぞと言われる」 数学の伊藤先生は「まだ 5 分ありますよ」と言われた この「もう」と「まだ」の時間的心理感覚の差 高齢期を迎えて、ふと思い出される「もう」と「まだ」「もう」60 才「まだ」80 才 前向きの生き方を後輩諸兄に考えて頂きたい 操山高校 O.B.、現役共々母校の歴史と実績に誇りをもって、貴重な人生を社会のリーダーとして生き抜こうではありませんか

尾原闘多（昭和 20 年卒） ②立派な社会人 ③国語 漢文 江川先生（生物） ④入学した年末太平洋戦争が開戦し、卒業年に終戦となる 幼時より満州事変、支那事変と戦火の連続で、私達のみ 4 年制の卒業で、良い想い出はない ⑤教練（軍事訓練の事） ⑥入学当時の音楽授業で村山先生から“サンタルチア”を習った事 ⑦サッカー部（当時は戦時中の為、蹴球部と呼称した） ⑧岡山二中精神の把握と実践 ⑨70 点 ⑩正しく強くあれ



令和元年 5 月 25 日 於 ANA クラウンプラザホテル岡山

特集 120周年記念行事

記念式典

- 日時……………令和元年10月9日(水) 13時～14時30分(式典)
15時～16時30分(講演会)
- 会場……………岡山シンフォニーホール
- 参加者…………1,500人(本校職員を含む総入場者数 内生徒数 1,190人)



「遠隔医療の可能性」

私は今、未来航路及び国際塾として「UHCの達成に向けて、発展途上国の女性に対する安全な出産の環境を提供する」という概要で研究を進めている。その中で遠隔医療を一つのキーワードとして挙げている。だから、今日の講演会でロボットの可能性を感じることができて感銘を受けたと同時に、今後の研究のヒントとなり大変参考になった。また、自分は専門物理をとっていないので、ロボットや機械の仕組みに対してとっつきにくさを感じていた。しかし、身近なはやぶさや鉄腕アトムを例に、全体を通して分かり易くお話をしてくださったので興味を持てるようになった。

特に研究室で作られたロボットの紹介で出てきた「ペットボトルサイズのロボット」に興味が湧いた。発展途上国で、しかも農村部への提供となると、あまりに大きな機械だと不便であると考えていたので、ペットボトルサイズが可能なのであれば、研究がより深まっていくと思う。今後、お産の現場で生かしていくようなロボットについて調べてみたい。

また、ベトナムなど海外の遠隔医療の実験からも遠隔医療の進歩を感じることができた。「ガイヤの夜明け」のビデオの中で、光石先生がおっしゃっていたような「みんなが高度な技術での手術を受けられる世界」が少し見えるような気がした。今日の講演会で学んだこと、感じたことを基に自分の課題研究をさらに発展させていきたい。

2年 柴田麻衣

式の後には、操山の卒業生で私たちの大先輩でもある光石先生の講演をうかがつた。演題を見たとき、文系で、理科が苦手な私にこんな明らかに理系の話がわかるのだろうかと心配に思っていたが、実際にはそんな心配は全く不要で、写真や動画がたくさんあるスライドで一貫して楽しくお話を聞くことができた。また、平易な言葉で高度で興味深い内容の話が展開されていて聞いていてとても理解しやすかったし、とても勉強になつた。特に頭に残っているのは、先生の「今、隣にいる友人を大切にすること」という言葉だ。確かに未来航路を通してよくわかつていたが、みんなばらばらの方向へ向いてそれぞれの未来を描いている。そしてそれぞれユニークで私が知らないこともたくさん知っている。そんな友人達に刺激を受け続ける日々だ。先生自身の体験のようすに、友人達が私の人生を変えるかもしれない今日の講演を聞いてこれからも友人達と切磋琢磨しながら得難いこの日常をしていきたい。そう思った。

2年 中島 彩

「創立百二十周年記念行事に参加して」

創立百二十周年ということでシンフォニーホールに足を踏み入れた私は、その威容に圧倒された。正装している先生方、檀上に並ぶ高名な方々、この百二十周年という節目の年に在学できるという偶然がどれほど幸運なことなのかと噛み締めながら、私は謙々とした雰囲気で進む式典に臨んだ。

式の後には、操山の卒業生で私たちの大先輩である光石先生の講演をうかがつた。演題を見たとき、文系で、理科が苦手な私にこんな明らかに理系の話がわかるのだろうかと心配に思っていたが、実際にはそんな心配は全く不要で、写真や動画がたくさんあるスライドで一貫して楽しくお話を聞くことができた。また、平易な言葉で高度で興味深い内容の話が展開されていて聞いていてとても理解しやすかったし、とても勉強になつた。特に頭に残っているのは、先生の「今、隣にいる友人を大切にすること」という言葉だ。確かに未来航路を通してよくわかつていたが、みんなばらばらの方向へ向いてそれぞれの未来を描いている。そしてそれぞれユニークで私が知らないこともたくさん知っている。そんな友人達に刺激を受け続ける日々だ。先生自身の体験のようすに、友人達が私の人生を変えるかもしれない今日の講演を聞いてこれからも友人達と切磋琢磨しながら得難いこの日常をしていきたい。そう思った。

記念講演会

演題 「先進手術ロボットが拓く未来社会」

講師 東京大学 大学執行役・副学長

大学院工学系研究科教授

光石 衛氏（昭和50年卒）





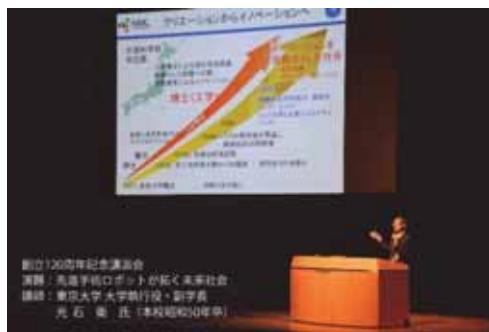
「120周年の重み」

今日の式典を終えて、改めて120周年という歴史の長さと重みを感じることができた。これまでに操山は49,000人の卒業生を輩出していること、そして卒業生の方々が地元はもちろんのこと、日本で、世界で活躍されているという話を聞き、操山の偉大さについても肌で感じられた。

式典の中でもよく耳にした「和して流れず」と「操山ファミリー」という言葉。私は普段の学校生活でこれらのことを感じることが多々ある。例えば校内で「卒業生と語る会」や「グローバル講演会」では卒業生である大学生や社会人の方たちが私たちのために話をしてくれる。松柏祭では学年の垣根を超えてブロック全体で協力することができた。

また講演会を聞いて「今学んでいることはいつ役に立つかわからないから一生懸命取り組むことが大切。」という言葉が一番印象的だった。私の人生もどこにたどり着くのかわからないからこそ、今学んでいることに全力を尽くそうと思った。私は操山で生活してから4年目だ。操山で過ごせるのはあと3年もないが、短い期間だからこそ学習面でも部活でも充実した時間を過ごしていきたいと思った。

1年 小野倫敬



回顧展

令和元年10月8日(火)～10月13日(日) 操山高校百周年記念館にて開催

卒業生が訪れました。
開催期間中、百名を超える



操山ファミリー美術展



- 会期… 令和元年 10月 8日（火）～13日（日）
9時～17時（最終日は9時～16時）
- 会場… 岡山県天神山文化プラザ 第3・4・5展示室
- 後援… 岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・NHK 岡山放送局・山陽新聞社
- 出品点数… 101点（絵画38点・デザイン2点・版画1点・写真6点
書道38点・彫刻6点・工芸10点）
- 出品者数… 100名（現職/OB教職員14名・卒業生86名）
- 来場者数… 855人

操山ファミリー美術展係
操山高校美術科教諭 重藤 和彦

まずは出品を快諾くださいました操山ファミリーの皆様と、企画から搬入出、展示作業、受付業務をお手伝いくださいました梅操作会の皆様にお礼を申し上げます。
百周年以降十年ごとに同施設で開催されてきたこの展覧会ですが、例年お借りできていた第1・2展示室がお借りできないことが判明したところからの前途多難を暗示させるスタートでした。しかし、企画会議において検討や助言をしていただき、当日までのロードマップが決定した以降は実際にスムーズにその時その時の手続きを進めることができました。そういった中で、歴代の芸術科の先生方、一女や二中卒の出品の方々と個人的にお会いさせていただいたり手紙でのやりとりにおいて、随所で「操山愛」を感じられて大きな安全感の中で仕事を進めることができました。十年後の展覧会もどうぞよろしくお願ひいたします。



野球部 学校創立 120周年記念試合



山陽新聞社提供写真



令和元年 10月 27日、岡山県営球場で伝統の五校戦が行われた。五校戦の歴史は、1954年（昭和29年）に開催された「朝日・操山総合競技定期戦」（通称「操朝戦」）に始まる。その後三校戦・四校戦へと発展し、1998年その幕を閉じた。現在は、野球部とバーボール部が五校戦を行っており、当日の五校戦の対朝日戦を「学校創立 120周年記念試合」を兼ねて実施した。

対朝日戦は「操朝戦」を彷彿とせるものがあり、保護者会・同窓会・野球部OB会らが多数スタンドに集結し、120周年をお祝いした。山下貴司前法務大臣（昭和59年卒）が始球式を務めた。

元プロ野球審判山崎夏生球審の天にも届く大声でプレーボール。吹奏楽部OB・OGもスタンドに駆け付け、第一・第二応援歌、両校校歌を演奏した。両校応援席から自然に拍手が起り、垣根を超えたエールの交換が行われた。結果は7-4で我が校の勝利。「操朝戦」の呼称について当日応援に来られていた朝日高校のご長老（元応援団長）にお聞きしたところ、「操朝戦と呼ぶことで昔決着がついている」とのこと。どちらかを先に呼ぶのではなく、語呂のいい形で収まったというエピソードをお聞きできた。

我が野球部は、昭和21・22年に夏の岡山大会を連覇するも山陽大会で惜敗。23年にも準優勝したが山陽大会で敗れ甲子園には未出場。一方の朝日は、県勢初の甲子園出場校である。両校野球部が旋風を起こし、「操朝戦」に始まる五校野球部の発展を期待したい。

岡山操山高校野球部OB会会长 平林 実（昭和55年卒）

ホームカミングデー 開催！

令和元年11月16日(土)

秋晴れの中、操山高校始まって以来、初めての試みとして、「ホームカミングデー」が開催されました



8時40分～12時まで「授業参観」

「土曜活用講座」全29講座
講座の中味は多種多様。

「いまさら聞けない古典」「チーム数学からの挑戦状」「フランス語入門」「実践地理」「Advanced English」「世界史B論述問題にチャレンジ」「生物オリンピック」「社会文化歴史探求入門」「実験で学ぼう」等々。

お昼は

懐かしのうどん食堂で、
うどん券を配布。百枚準備したが、不足分三十枚を急遽追加・嬉しい誤算

13:00～15:00 体育館でイベント

- ◆おやじバンド「フォーメーション」
(代表:竹内秀樹 昭和47年卒)
- ◆バリトン独唱 武久顕也
(瀬戸内市長 昭和62年卒)
- ◆歌と演奏
校長先生と吹奏楽団(在校生)

みんなで一緒に校歌合唱！

午後3時から5時までは在校生の案内による「校内散策」

私は化学の授業と実験を参観しましたが、偶然とはいえ界面活性剤の授業と実際に花王OBとしてのコメントと感謝の気持ちの感想を提出しました。先生はどの様に感じられたことでしょう？！

(某卒業生)

「世界史B論述問題にチャレンジ」という講座で、実際に大学入試に出題された試験問題をどのように回答していくべきよいかという手順を、生徒と先生と一緒に考えながら模範論文を構築していく過程を参観しました。私たちの時代では経験しなかつた形式の授業に大変驚きました。とても興味深い体験でした。

(某卒業生)

体育館行事の後、生徒会役員による校内散策に参加しました。案内役を務めてくれた女生徒達が、非常にしっかりしていました。OBには大感激でした。OBの我儘話をよく聞き、さばき、次の行き先・エピソードにつなげる一連の流れにそつぱなく、操山もまだまだ捨てたものではない、と実感しました。

(某卒業生)

岡山操山高等学校120周年記念
ホームカミングデー



バリトン独唱 武久顕也

おやじバンド フォーメーション

校長先生の歌と吹奏楽団



女生徒達のパフォーマンス



校内散策に出発



人見絹枝像の前で

同窓生の部屋

山麓句会 「昭和 31 年」 3 年 6 組発の自由なメール句会

山麓句会は、岡山操山高校昭和 31 年卒 3 年 6 組の在京組が母体となって、1996 年（平成 8 年）末、発足当初の「三六句会」が発展したものです。6 組から学年へ、在京組から全国区へと拡大し、高校に止まらず、大学や職場、地縁、句縁、その他さまざまな縁が繋がって、ついには「山麓句会」と改名して今日にいたっております。「山麓」は「三六」からの語呂合せですが、同時に頂上を目指す過程としての山麓であることを意識したネーミングでもあります。

句会の活動は、毎月のメール句会と、折々の吟行、山麓の別働隊としての在京組による顔をあわせての「きら句会」があります。また、気まま散歩や会員会友向け掲示板を通しての情報交換があり、切磋琢磨しながら広い意味での人間性向上に役立てています。

主宰は、寿運庵。会の個性としては、ジェトルマンシップを基本に、自由で闊達な腕白句会、友達の友達は友達という交友関係の広がりがあり、素のままでつきあえる人間関係が形成されている会と言えましょう。

句会の成果は、毎年句文集として発行し、創刊号『庵茶も出花』から 22 号『下駄の跡』まで現在 22 冊に達しています。「庵茶」は、男性が「庵」、女性が「茶」を併名に用いましたので、それを折り込んだもの。



22 号は田（でん）捨女の有名な「雪の朝二の字二の字の下駄の跡」からとったものです。また、主宰の寿運庵が毎年発行している『一日一句・英訳付』は、6 年を重ねています。関心のある方は、岡山県立図書館で手にとってご覧ください。右の同窓生による自選一句をどうぞ。

山と山結び合わせる秋の虹	芳茶 河原美子（三年九組）
生かされて生きて傘寿の初鰹	輝庵 松本熙（三年一組）
初時雨カツエの窓外無言劇	富永正孝（三年四組）
雲の峰いくつ越ゆれば父散る島	淳（三年六組）
初めての職務質問茄子畑	山上琢二（三年六組）
夏雲に消えしボールやカップイン	安本和志（三年六組）
和庵 千空庵	寿運庵 横田淳（三年六組）
孝庵 富永正孝（三年四組）	河原美子（三年九組）

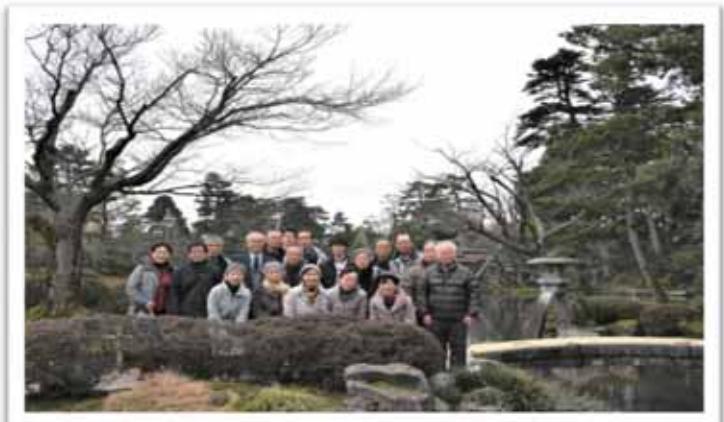
主宰・横田 淳 岡山支部幹事・安本和志（昭和 31 年卒）

通信制同窓会「操友会」恒例の 2 年ごとの親睦バス旅行

通信教育は、昭和 23 年 2 月に本校の前身である岡山第一岡山高等女学校に通信教育部が設けられたことで始まりました。そして入学から 7 年目の昭和 31 年 3 月に第一回卒業式が挙行され、4 名の卒業生を送り出しました。令和元年 3 月には 79 名が卒業。現在は、総勢 4945 名の同窓生がおり、日本国内や外国でも活躍しています。

同窓会は昭和 31 年 3 月に 4 名により発足しました。同窓会活動としては、P T A という会がないので、在校生の励ましとなるよう、通信制の新入生歓迎競技大会・体育祭・文化祭等に参加していましたが、現在では 11 月の文化祭のみに参加しています。そうした中で、同窓生の絆を深めるために、昭和 60 年から親睦バス旅行が始まりました。平成 31 年 2 月には、操友会発足 60 周年記念第 14 回親睦一泊二日バス旅行を実施。世界遺産の白川郷・兼六園、北陸山代温泉に総勢 20 名で雪を見に行きました。前年は豪雪だったのでバス旅行ができるかどうか心配しましたが、今年は暖冬で雪はほとんどなく少しがっかりしたくらいです。しかし、20 歳から 80 歳台のメンバーで、孫のような若者たちと和気あいあいの楽しい旅で、無事岡山へ帰着しました。

森西靖憲（S60 通信制卒）



東京操山35会 花便り

東京操山35会では2017年に、同級生祇園義久君がオーナーの（株）ギオンの創業50周年記念のお祝いとして、同社相模原の敷地内にソメイヨシノ1本を寄贈し植樹しました。その後、この桜を観る会を毎年行っており3年目を迎える昨年は、平成最後の31年3月30日（土）に行いました。岡山からも毎回3名から4名の参加があり、この植樹を機にさらに同級生の絆が強まりました。観桜の後はおいしい料理とお酒と歓談の時を過ごしました。桜の寿命は50年とされております。50年先の桜を観ることはかないませんが、1年でも長くこの花見を続けることが出来るよう、皆さん健康に留意しております。桜の成長と共に㈱ギオンの益々の発展と、同級生の健勝を祈りつつ散会しました。



東京操山35会のホームページ

http://www.geocities.jp/ja3fen2/Sozan/sozan_top.html

卒業50周年からの学び舎！ 昭和40年卒の仲間たち

シルバーライフの金言「キヨウヨウとキヨウイク」。通訳すると「今日、用事がある、今日、行く所がある」を実践している昭和40年卒の仲間たちです。

きっかけは、操山高校卒業50周年の同窓会の後、次回55周年までの期間、何か意義ある集いで楽しくという提案があり始まった「シニアのための歴史講座」です。教室スタイルでの勉強が新鮮で、なんといっても「予習・復習・テストなし」の好条件です。講師の柴岡元（世界史教諭：昭和40年卒）さんが、毎回きちんとレジメを用意し、世界史の参考書「最新世界史図説 タペストリー」のあちこちを開きながら解説、講義！が進みます。講義中も質問が飛び交い、受講生は人生経験豊かな自分のエピソードを交え、話題が時代を超えて世界中をめぐります。内容が二・二六事件の時は、その時代を知る会員のお母様（一女第17期）も聴講、臨場感あるお話が伺え、軍・警察情報に詳しい会員から、事件当時の軍隊の組織や、階級などの話も出ました。

発足は10数人でしたが、友人知人や先輩後輩の方々が次第に増え50人を超えるました。戦時中一女に入学され、昭和23年に修了され、まさに操山の転換期を経験している田川由美子さんもこの会のメンバーです（会報第2号に彼女の原稿が掲載されています）。

写真は、講師の柴岡さん丹精のスイカや野菜も楽しみな岡山プラザホテルでの懇親会です。

藤井（祖田）孝子（昭和40年卒）



操山45会（よいかい）

私達は45年卒業なので操山45会（よいかい）と名前をつけて活動しています。

活動は1年に1回全員に操山に関するニュースと年会費の振込用紙を入れた手紙を送付しています。年会費は1,000円で現在1/4くらいの会員が振り込みをしてくれています。全員に送付する通信費もこの会費から出せます。このたび、操山同窓会へ10万円を45年卒で寄附しました。このように年会費は活動に大変役だっています。



また1年に1回送信することで会員の消息、転居などの情報確認もできています。グループラインも作成しており、会員の個人のお知らせなどにも使用されています。学年の同窓会は原則2年に1回ですが会員のフルマラソン100回記念、ホールインワンお祝い、チャリティ演奏会、テーブルマジックショーを見る会など、時々に有志が集まってミニ同窓会を開き親睦を深めています。

小倉（蜂谷）千真理
(昭和45年卒)

オリンピックイヤーに集まる 55操山会

4年に1度、オリンピックイヤーに学年全体の「55操山会」を開いています。写真は、2016年1月2日の一次会終了時、恩師の方々を囲んで写したもの。さらに55の輪を広げようと、掲示板、FBグループ、LINEグループを作って日頃から参加を呼びかけています。その甲斐あって？ 関東会、関西会、岡山地区会など支部ごとに「お月見会」「お花見会」



「暑気払い」「ゴルフ合宿」などなど何かと理由をつけては集まり、友好を深めています。

次回、「55操山会」は
2020年8月15日！

55の皆さん、
用意はいいですね！

水原（川井）晶代
(昭和55年卒)

同窓会の部屋

関東操山会

岡山を離れ幾年月！



関東操山会ホームページ（岡山操山高校同窓会関東支部） <https://www.kanto-sozan.com/>

第7回 関東操山会

6月22日、都市センターホテル（千代田区平河町）

で120名の参加のもと、盛大に開催されました。大原同窓会長、近藤校長を始め多くの来賓の方々のご参加と、皆様方からの数々の景品ご提供による抽選会、10数名の若手会員の紹介等で大いに盛り上りました。また、本年より9月14日にはゴルフコンペ、9月22日には初の試みとして音楽祭を恵比寿で開催し、さらに絆を深めています。関東操山会は会長の香山充弘さん（S39年卒）を中心に、毎年幹事を決め開催しております。

第7回は 幹事長として藤原孝志（S44年卒）、幹事として池田善彦さんを始め昭和53年卒の方々が大いに活躍されました。来年度は 幹事長として安田照男さん（S54年卒）、幹事として水田正和さんを始め昭和54年卒の方々に決定しており、期待するところ大です。さらに充実した会を目指して参りますので、皆様のご支援ご参加を切にお願い申し上げます。

藤原孝志（幹事長 昭和44年卒）



操山3年9組 8人会



「8人会」は校内運動会の応援合戦の時、仮装（全身に墨を塗布）して応援をしたメンバーを中心に結成。平成19年4月から、岡山県内の山を中心年に4~5回登っていましたが、その後春の筍掘り、夏の暑気払い、秋の芋掘り・芋煮会、冬の鴨鍋忘年会、高松稻荷奥の院への初詣・新年会、さらに年一度の県外登山も加わり活発に動き回っています。平成27年3月にはNHK教育番組「団塊スタイル」で、これらの活動が放映されました。一昨年の立山登山、昨年の秋吉台ハイク等で113回目を迎ましたが、75歳を過ぎても全員元気で活動しようと思っています。

山根浩三（昭和40年卒）

操山高校を愛する会

操山高校を愛する有志の会主催 「第 30 回 とにかく楽しく集まる会」
令和元年 9 月 7 日(土) 午後 6 時～9 時 於: 岡山プラザホテル

なにやらファジーなこの会も、今回記念すべき第 30 回を迎えました。平成元年の秋、当時同窓会副会長の故亀井磐氏 (S25 卒) を代表として、当時の評議員を中心に有志 65 名で発足した際には、“評議員会の活性化”という目的でしたが、2 回目からは参加者の対象を広げて、世代を超え、政治宗教思想信条の違いを超えて、毎回約 100 名の参加者を集めて会を継続してきました。今回も昭和 26 年卒から平成 22 年卒まで 100 名近くの卒業生が集い盛会となりました！

前嶋健一代表世話人 (S35 卒)、大原利憲同窓会長 (S40 卒)、近藤治校長の挨拶に続いて最若年の馬場拓郎君 (H22 卒) の乾杯で懇親会が始まり、各テーブル毎に檀上に上がって参加者がそれぞれ近況や母校への思いを闊達に述べました。現職大臣、国会議員、現職市長はじめ、会社経営者や医師・弁護士たちも普段の袴を脱ぎ、主婦・会社員・大学生らが一堂に会し、皆で大いに気勢を上げました！

アッという間に 3 時間が過ぎ、本年で創立 120 周年を迎える操山高校への母校愛を再認識しつつ、最後に全員で校歌を大合唱し、また来年秋の再会を約して散会しました。

奥田信一 (昭和 43 年卒)



二操会



二操会は岡山一女・二中・操山の全卒業生のゴルフ同好会です。昨年は 120 周年記念行事が開催され、この写真は、その一環として実施された第 79 回二操会（令和元年 11 月 15 日、岡山カントリー倶楽部桃の郷コース）の時のものであります。昭和 27 年卒の中野英一、三木正浩、柴田宏子諸先輩を筆頭に、昭和 59 年卒まで 104 名の参加を得て盛大に開催されました。当日は晴天に恵まれ、和気あいあいの雰囲気の中、操山の輪が広がり、楽しいゴルフコンペとなりました。優勝は昭和 59 年卒の谷征純さんで、アウト 42、イン 39、トータル 81 でした。

二操会は年 2 回、春・秋のコンペを開催しています。操山の卒業生はどなたでも参加できます。今春の第 80 回二操会は 4 月 9 日に開催されます。これは 2 年に一度の朝日高校との対抗戦（ゴルフ操朝戦）で、個人戦と団体戦があります。朝日高校 O B との親睦を深める良い機会でもありますので奮ってご参加ください。 高林重信 (昭和 40 年卒)

母校の今

未来を切り拓く生徒たち



4月に赴任して以来、生徒の目覚ましい活躍を目にしてきました。部活動では陸上、水泳、山岳、ディベート、囲碁、文學が全国大会に出場し活躍しています。120周年記念松柏祭も生徒主体で気合が入っていました。記念式典やホームカミングデーでは

同窓生と交流する機会も多くいざれの生徒も堂々と活動していました。学校では朝早くから自主的に勉強する生徒、未来航路（総合的な学習の時間）をはじめ授業で活発に自分の考えを発表する生徒が多くいます。これらの生徒たちが操山高校の底力となり、伝統を受け継ぎ新たな時代を切り拓いています。

（副校长 三村直子）

進路状況（現役生実数）

卒業年度	30年度
国立大	102
公立大	13
私立大	100
短大等	5
就職	2
その他	49
卒業生	271

特筆すべき生徒の活躍

G20保健相会合で政策提言



10月19日・20日に、G20保健相会合が岡山で開催された。

操山高校の生徒3名（板谷舞華・岡緒末・柴田麻衣）が登壇。地元瀬戸内海には小さな島が点在し、そこでの保健医療の問題点とその現状を調査し解った事を、自分たちの世代の問題として背負っていく課題だと認識したことを発表した。

5G世代の生徒らしく「知る」「つなげる」を手段として、地域内の活動のみならず、Webを使って世界的な保健医療を「つなげる」「拡げる」ことを彼女たちは提言している。生徒たちの深く考察する力は、SGH「未来航路」の下、先生方の指導によって育ってきたものだと感じている。



朝日新聞社提供写真

セイクリッド・ハート・カレッジと岡山県立岡山操山高等学校が姉妹校へ！



5月1日 オーストラリアのセイクリッド・ハート・カレッジと姉妹校提携しました。今後も、両校での有意義な異文化交流が行われます。

修学旅行（2年次）風景

海外班（マレーシア・シンガポール方面）

「海外修学旅行 2019」6月18日～22日
教員10人、生徒148人

マレーシアのダド・ウスマン・アサン校との交流もあり貴重な体験をしました。



国内班（関東方面）

「国内修学旅行 2019」6月18日～21日
教員8人、生徒125人

JAXA、Apple、ユニセフボランティアセンター等に分かれて研修。ディズニーリゾートにも行き、楽しい思い出作りができました。



研修・講演会



「グローバル講演会」6月6日（木）
演題：「JAPANESE WONDER TO THE WORLD」
講師：株式会社力の源ホールディングス
取締役アジア事業本部本部長
矢野亮太氏（平成10年卒）

活躍している社会人による講演は、生徒達が巣立つ社会をより具体的に理解する助けになっています。生徒たちが描く将来に大いに役立っています。



「グローバル講演会」10月2日（水）
演題：「岡山から世界へ
～日本食と未来をささえるしごと～」
講師：株式会社フジワラテクノアート
代表取締役社長 藤原恵子氏（昭和45年卒）



生徒の一致団結
これからも「操山ファミリー」



今も昔も
嬉し恥ずかしフォークダンス

全国大会 入賞一覧



11月 20日 同窓会が全国大会で入賞した5人に贈呈した記念品が、校長の手から生徒に渡されました

文責 横田（宇治）節子（昭和40年卒）

- ① 新井菜々実（文學部）1年生
第34回全国高等学校文芸コンクール
俳句部門入選、短歌部門入選
主催：公益社団法人全国高等学校文化連盟
- ② 寺坂千英（水泳部）1年生
第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）
少年女子 100 メートル平泳ぎ 6位
- ③ 寺尾 隼（ボウリング）2年生
高体連加盟全国選抜大会兼第34回東北北信越高等学校選手権大会
ボウリング 2人チーム戦男子 5位
- ④ 有松祐絵（ボート部）3年生
第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）
ボート競技 少年男子ダブルスカル
岡山選抜 5位
- ⑤ 池田雅子（課題研究：未来航路）
2019年度統計データ分析コンペティション
高校生の部 特別賞

学校からのお知らせ

■問い合わせ先

岡山県立岡山操山高等学校
同窓会係

電話 086-272-1241

令和2年3月卒業 同窓会連絡係

◎は評議員

通信制 (普通科)	七組 植野 齋藤 有結 啓◎	六組 苔口 秋山 陽香 遼河◎	五組 齋藤 入江 濱花 勸弥◎	四組 金島 梶原 礼奈 佑太◎	三組 庄司 二宮 奈良 太子◎	二組 馬場 祇園 奈津 涼太	一組 宮崎 浅原 晶子 紅葉◎	全日制 (普通科)
本原 千健里亮								



事務所たより

所在地：〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 3-1

操山会館内 電話・FAX：086-273-7502

開館時間 月曜日～金曜日 午前 10 時～午後 2 時

zaidanhoujin.souzankaikan@lapis.plala.or.jp

今年度の主な行事予定

- (1) 総会・交流会……… 11月（日時未定）総会に先立ち評議員会を開催 会場：岡山プラザホテル
- (2) 操山高校を愛する会… 9月5日（土）会場：岡山プラザホテル
- (3) 二操会主催ゴルフコンペ（一女・二中・操山全卒業生を対象）
 - 操朝戦（第80回二操会）………… 4月9日（木）赤坂レイクサイドカントリークラブ
 - 夏の会…………… 7月9日（木）後楽ゴルフ俱楽部
 - 第81回二操会…………… 10月22日（木）岡山カントリー俱楽部（桃の郷コース）
- ※申し込みは「赤坂レイクサイドカントリークラブ」江見支配人（昭和54年卒）まで
電話 0869-57-3131
- (4) 梅操展…………… 10月6日（火）～10月11日（日）天神山文化プラザ

会計報告

2018年度決算書

（単位円）

	【収入の部】			【支出の部】	
項目			項目		
会 費	全日制卒業生 3000 円×271 名	977,000	人件費		91,000
	通信制卒業生 2000 円×82 名		会議費	理事会、総会、評議員会経費補助	435,610
寄附金	操山高校同窓会会員から	1,840,862	旅 費	関東操山会出張旅費	32,920
	振込み手数料差引き額		新入会員記念品料	卒業生記念品	162,201
雑収入	預金利息等	12,144	通信費	総会等会議案内、会報郵送料等	412,863
			需用費	会報、総会資料等印刷経費、	878,331
				パソコン購入費、消耗品等	
			委託料	ホームページ作成費等	50,864
			使用料	一女記念碑使用料	1,120
			雜 費	同窓会新聞・会報著作権使用料、	74,702
				寄附金振込み手数料等	
			120周年事業費	120周年記念タオル購入	378,000
小 計		2,830,006	小 計		2,517,611
	前年度からの繰越金	5,806,326		次年度への繰越金	6,118,721
合 計		8,636,332	合 計		8,636,332

（2018年9月1日～2019年8月31日）

※寄附金について 昨年度、昭和34年から5年ごとの卒業生約4,200名に会報2号を送付しました。送付と同時に、同窓会活性化のための寄附金をお願いしましたところ、多額の振込みを頂きました。今年度は、昭和30年から5年ごと平成17年までの卒業生に会報を送付し寄附をお願いすることになりました。同窓会活動をさらに充実させていくため、次年度からも同様の形で協力をお願いする予定です。

編集後記 学校創立120周年を記念して行われた記念式典、講演会、ファミリー美術展、回顧展、ホームカミングデーを特集しました。併せて近藤鶴代、人見絹枝の偉大な二人の大先輩にスポットライトをあててみました。20ページの特大号となりましたが、資料等を提供していただいた学校、投稿していただいた各期の皆様に感謝いたします。

＜編集委員＞ 秋山寛治・河口（小六）・富美子・柴岡元・高林重信・横田（宇治）節子（以上S40年卒）・前嶋健一（S35年卒）・水原（川井）晶代（S55年卒）・森西靖憲（S60年通信卒）

お知らせ 同窓会事務所に事務職員を配置しました。 安倉義明（昭和54年卒）

卒業生情報

操山高校に在勤中の卒業生
(2020年3月1日現在)

☆教諭

石井 浩治	……	昭和56年卒
岡本 則清	……	昭和59年卒
大西 卓嗣	……	昭和62年卒
坪井 義浩	……	平成元年卒
川崎(正本)佳子	…	平成3年卒
青山 聰	……	平成7年卒
服部 真理	……	平成12年卒
小野 佑介	……	平成15年卒
土井 章	……	平成22年卒
加門 卓弥	……	平成20年卒
平松(渡邊)真弓	…	平成24年卒

☆補習科職員

井上 明日香	…	平成18年卒
--------	---	--------

同窓会ホームページ <https://sozandousou.wixsite.com/sozan1900>